

2学期中間試験

9月25日から30日まで中間試験がありました。学習センターでは1週間前から毎日、試験前特別自習期間として自習室を開放しております。自習期間の初日から多くの生徒が利用しました。携帯電話等は持ち込まない、私語をしないなどの自習ルールを守り、自分のペースで勉強に取り組む姿が見られます。1・2年生は1学期に比べて積極的に質問にも来るようになり、常駐スタッフは質問攻めに。一人ひとり問題の躓き方が異なるため、生徒に合わせた回答をしております。授業とは異なった密なコミュニケーションがとれる試験前特別自習期間は学習センターの特徴的な取り組みでもあります。(文責:永田)



公開夢ゼミ

『学びの質を高めるために必要なことは』



9月2日は1・2年生合同の公開夢ゼミを開催しました。ゲストは学習環境のデザインをテーマに研究されている東京大学の山内教授とそのゼミ生の方々です。今回は、「学びの質を高めるために必要なことは何だろう」をテーマに各グループで東大生を交えて話し合いました。

東大生の意見を参考にしながら、模造紙にアイデア書き込んでいく姿が見られました。後半には、山内教授が研究されている内容と「学びの質を上げるポイント」が紹介されました。



『学びの質を上げるためのポイント』

- ① 学習時間を増やす
学習のやり方よりも、まず時間を増やす方が有効
- ② ながら勉強をしない
音楽聴きながらなど、〇〇しながら勉強することは、一つに集中できないから不向き
- ③ 分からないところはきちんと聞く
長時間考えても分からないものは分からないため、すぐに質問する方が良い



2年夢ゼミ

『地域に求められる人材とは』

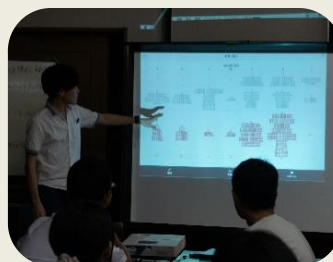
9月8日の2年夢ゼミでは、リクルートマーケティングパートナーズ社長の冨塚優さんをお招きし、「地域で求められる人材とは」をテーマに話し合いました。模造紙に気づきを書き込みながらグループで出た意見は、コミュニケーション能力や地元愛、柔軟性など。



話し合いの中で、地方と都会のように地域によって求められる人材は違うのでは？誰によって求められるの？など疑問が出てきて頭を悩ませていました。



後半は、冨塚さんからお話を伺いました。様々な地域で求められる必要な3つの力は「見立てる力、仕立てる力、動かす力」これらのどれかを伸ばしていくと良いという言葉を受け、積極的に質問したり、メモをとる生徒の姿がありました。その他にも素敵なメッセージを多くいただき、得たものが大きい夢ゼミとなりました。(文責:永田)



山内教授からは、最近の学生は自分に対する評価が厳しく、すくんでいる状態であるため、もっと自分をほめて肩の力を抜いた状態で勉強に取り組んでほしいとエールが送られました。夢ゼミの話し合いの中から、急ぎょ山内ゼミの青木さんと学習センターが連携することになりました。青木さんは自分で計画を立てて学習することについて研究されています。まだ企画段階ですが、面白いことになりそうです。お楽しみに！(文責:永田)



新校舎ワークショップ

ついに学習センター新校舎の建設が始まりました！もともとあった築100年の古家の木材を再利用するために柿洪塗装を10月26日(日)に実施する予定です。詳細は決まり次第お伝えします。(文責:永田)

再利用する木材

